

令和7年度 総合的な探究の時間「めばえ」 全体計画

愛媛県立八幡浜高等学校定時制

本校の教育目標	生徒の実態	保護者・地域の要望
校訓 五綱領 「勉学 礼儀 健康 融和 奉仕」 教育方針 ア 校訓を基調として、地域社会の形成者としての資質・能力を養う。 イ 社会の変化に柔軟に対応し、自らの進路を切り拓く確かな学力を育成する。 ウ 個性を尊重し、国際的視野を持った心豊かな人間を育成する。 エ 安全・安心で充実した教育環境のもと、社会で生きる力を育む。 指導目標 ー主体的に行動する生徒の育成ー	・在籍生徒は、八幡浜市内及び近隣の大洲市・西予市・伊方町出身で、中学校までは登校できなかった生徒がほとんどだが、高校入学後は多くの生徒が休まず登校し、充実した学校生活を送っている。 ・入学の動機が様々で、明確な目標を持って入学する生徒は少ないが、入学後は部活動や資格取得に向けて取り組む生徒が増えている。	・社会で必要となる基礎学力の定着、基本的学習習慣の確立、コミュニケーション能力の育成、社会人としての規範意識の高揚や地域に貢献できる勤労青年の育成が求められる。 ・八幡浜市や近隣の通学可能な地域では唯一の夜間定時制高校であり、義務教育段階の学び直しの場としても、本校の果たすべき役割は大きい。

総合的な探究の時間「めばえ」の目標
・楽しみながら学習することを基本とし、実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ・課題探究に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解するようにする。 ・課題探究に主体的・協働的に取り組み、互いを認め合いながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

育てようとする資質や能力及び態度
・探究的な活動を通して、主体性を養う。 ・協働的な活動の中で、コミュニケーション能力を養い、社会で生きる力を身に付けさせる。 ・異学年で構成されたグループで活動し、社会性や協調性を身に付ける。 ・発表会を通して、プレゼンテーション能力を育成する。

	指導方法	学習内容	指導体制	学習の評価
全学年	課題探究テーマを設定し、生徒の希望により所属先を決定する。 グループ内の同一の項目について探究的活動を行う小グループを作り活動させる。	課題探究テーマに沿った項目の中から、各自が興味関心を抱いた事項に関して調査を行い、その事項に関する技術や技能の向上を図る。	課題探究テーマごとに教員を配置し、生徒の探究的かつ主体的活動を促すとともに、活動の指導と助言を行う。	課題探究に対する活動意欲、参加状況、学習内容、発表資料及び内容などの評価項目を作成し、本人の自己評価をもとに、目標に対しその到達度合いを見る。

各教科との関連	地域との関連
各教科・科目や特別活動で、探究活動を行うための基本的な知識や技能等を身に付けることができるよう、指導方法を工夫する。	生徒の就労を奨励し、実社会の中で、社会性、協調性を身に付けさせ、生きる力を養い、地域に貢献できる人物を育てる。